255. ^{99m}Tcによる消化管の異所性胃粘膜の診断

北里大学　放射線科
橋本　省三　石井　勝己　山田　伸明
渡辺古志郎　中沢　圭治　依田　一重
松本　扶三

1967年 Harden 等により $^{99m}TcO_4^-$ が胃粘膜に特異的に吸収される事が scanning にて指摘され，この事より Jewett 等は異所性胃粘膜を有する Meckel 憩室を scanning により術前診断した症例を報告した．我が国においても，米山，古田等の報告をみる．我々も原因不明の消化管出血に対し，$^{99m}TcO_4^-$ による腹部 scanning を行い，異所性胃粘膜を有するメッケル憩室2例，腸管重複症1例を術前に診断し得，さらに動物実験を行い，2，3の知見を得たので報告する．

〔方法〕患者は主として乳児であるが，成人にも $^{99m}TcO_4^-$ による腹部 scanning を行った．乳児には $^{99m}TcO_4$ を500μCi～1mCiを，成人には約4mCiを静注し，その後15分，30分，60分，120分の4回にわたり scanning を行ない，また，そのデーターを集収して3次元表示を行い，陽性像の確認につとめている．機器は Nuclear Chicago 社製 pho-γ-Camera HP型およびデータ処理には CDS 4096を用いた．血便を主訴とした患者22例に施行し，4例に陽性像を得た，1例は症状と対比して腸管重複症と術前に診断し得たが，1例は腹壁の血管腫であった．しかしこれは scan image より Meckel 憩室とは考えられなかった．他は手術的に確認した．また，ラットテに $^{99m}TcO_4^-$ を2～5mCi 静注し，10，20，30，60分目に屠殺し，胃，小腸，結腸のミクロラジオオートグラムを作製し，胃粘膜にのみ $^{99m}TcO_4^-$ が存在し，胃の筋層およびその他の腸管には存在しない事を確かめさらに経時的にも考察した．

〔考按〕$^{99m}TcO_4^-$ による腹部 scanning は異所性胃粘膜の発見には有用であり Meckel 憩室よりの下血が疑われた場合にはこれを行うべきであるが，その際，血管腫に注意すべきである．また，動物実験も併せて施行した．今後さらに症例を重ねていく予定である．

256. 膵疾患の R.I. 診断

癌研究会所属病院　内科
金　孟和　古江　尚
放射線科
津屋　旭

1967年9月癌研にシンチカメラ（Nuclear Chicago 社製）が設置されて以来現在まで454例について，使用経験を得たので，各種膵疾患の診断の限界を明らかにした．

1）正常膵例中92%は正常所見を示した．異常所見8%の内訳を見ると，陰影欠損（体部）は，6例（2%），摂取率低下～不能例は20例（6%）で，疑陽性と考えられた．

2）膵癌45例の膵シンチカメラ所見を検討し陽性率は45例中42例（93%）で，癌の占居部位と陰影欠損の大きさは，手術または剖検による確認34条例中14例（41%）で一致することを認めた．不一致の原因については随伴性膵炎によるものが多かった．偽陰性例は3例（7%）に見られた．

3）膵炎26例の診断陽性率は69%で低率であるが，手術を必要とする重症の慢性膵炎7例（膵石症2例を含む）および非手術の膵石症3例計10例全例に異常所見を示した．また P.S. 異常例8例，慢性膵炎疑診例5例計31例については，6例に摂取率低下等の異常所見を認めたに過ぎなかった．

4）肝外性閉塞黄疸23例の場合，^{75}Se-メチオニンの膵への摂取率は良好で膵原性除外診断に極めて有用である．また膵外性腫瘍による圧排偏位可動性から腫瘍の浸潤の程度を推定することが可能である．

Presented by Medical*Online